世羅町バイオマス産業都市構想

広島県世羅町

目次案

1.　地域の概要.....1

1.1 対象地域の範囲.....1

1.2 作成主体.....1

1.3 社会的特色.....1

1.3.1 歴史・沿革.....1

1.3.2 人口.....1

1.4 地理的特色.....3

1.4.1 位置.....3

1.4.2 地勢・地形.....3

1.4.3 交通体系.....4

1.4.4 気候.....5

1.4.5 面積.....6

1.5 経済的特色.....6

1.5.1 産業別人口.....6

1.5.2 産業別事業所数.....7

1.5.3 農業.....7

1.5.4 林業.....8

1.5.5 商業.....9

1.5.6 工業(製造業).....10

1.5.7 町内総生産額の推移.....10

1.6 再生可能エネルギーの取組.....11

2. 地域のバイオマス利用の現状と課題.....12

2.1 バイオマス賦存量と現在の利用量.....12

2.2 バイオマス活用状況と課題.....15

3. 目指すべき将来像と目標.....17

3.1 背景.....17

3.2 目指すべき将来像.....18

3.3 達成すべき目標.....19

3.3.1 計画期間.....19

3.3.2 バイオマス利用目標.....19
4. 事業化プロジェクトの内容.....21
4.1 基本方針.....21
4.2 低級油脂の燃料化・リサイクル事業.....22
4.3. バイオガス発電事業.....25
4.4. 木質バイオマスガス発電事業.....28
4.5. バイオ炭事業.....30
5. 地域波及効果.....33
5.1 経済波及効果.....33
5.2 雇用創出効果.....33
5.3 温室効果ガスの削減.....34
5.4 環境教育の促進.....34
5.5 森林環境の保全.....34
6. 実施体制.....35
7. フォローアップの方法.....37
8. 他の地域計画との有機的連携.....41

1. 地域の概要

1.1 対象地域の範囲

本構想の対象地域の範囲は、広島県世羅郡世羅町とします。

1.2 作成主体

本構想の作成主体は、広島県世羅郡世羅町とします。

1.3 社会的特色

1.3.1 歴史・沿革

世羅町は、縄文時代の石器や土器片、弥生時代の集落跡などが多く発見されており、古くから人々が住み生活を営んでいたことがわかっています。古墳時代には住居跡等の遺跡のほか、康徳寺古墳に代表される数多くの古墳も確認されており、この地域に集落が多数形成されていたことがうかがえます。

大化の改新の頃に、この地域の「郷」などを集めて世羅郡が置かれました。平安時代には庄園が設けられ、現在の世羅町の大部分が「大田庄」として統治されます。

開発領主である橘氏から平清盛の子重衡に、重衡から後白河法皇へと寄進され栄えました。平家滅亡後、法皇は大田庄を紀州高野山に寄進したため、世羅町地域は、今も残るこの庄園を管理した政所寺院である「今高野山龍華寺」を中心に発展しました。

戦国時代を経て、安土桃山時代には「村」が置かれ、近代統一国家社会へと基盤を作り始めました。明治 22 年の市町村制施行で 13 の村となり、明治 31 年には甲山町が町制を施行しました。その後、昭和の大合併では、世羅郡に甲山町・世羅町・世羅西町の三町が誕生し、さらに平成 16 年 10 月 1 日に三町が合併し現在の「世羅町」となりました。

1.3.2 人口

（1）人口

世羅町の総人口は、“ ベビーブーム”の効果などから、昭和 25 年（1950 年）に 34,029 人に達しました。その後は、農村部から都市部への人口流出に伴い、総人口は減少基調を辿り、平成 22 年（2010 年）にはピークである昭和 25 年（1950 年）の約 5 割に相当する 17,549 人となりました。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和 22 年（2040 年）における総人口は 11,053 人（平成 22 年（2010 年）比▲37.0%）まで減少する見通しです。年齢別では、生産年齢人口（15 ～ 64 歳）と年少人口（0 ～ 14 歳）が減少するのはもちろんですが、これまで増え続けてきた老年人口（65 歳～）も減少に転じ、本格的な人口減少時代に突入します。

（２）世帯数

世羅町の一般世帯数は、昭和 50 年（1975 年）から平成 17 年（2005 年）まで総じて増加基調で推移しました。人口が減少しているにも関わらず、世帯数が増加してきた理由として、核家族や単身者世帯が増加し、１世帯あたりの人数が減少していることがあげられます。このように、１世帯あたりの人数が減少するなかで、65 歳以上の高齢者が一人暮らしをする世帯も増えています。一人暮らし高齢者世帯の割合は、世羅町では 13.6%に達しており、備後圏（10.3%）や広島県全体（10.1%）より高くなっています。

図表 1-1　人口及び世帯数の推移（年齢 3 区分人口）

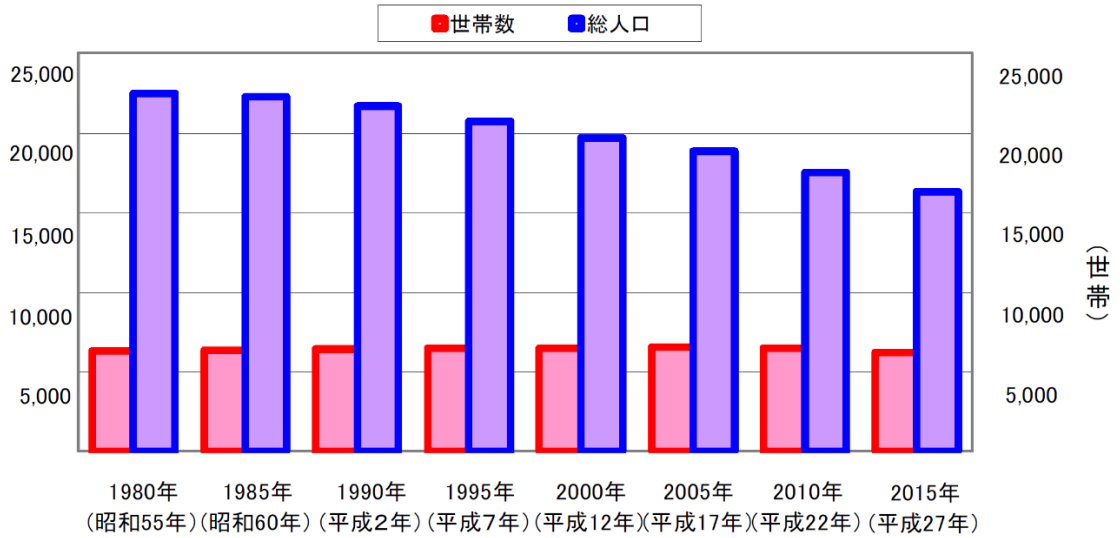
単位：人、%

産業／年度	総人口	世帯数	年齢3区分人口					
			14歳以下		15歳～64歳		65歳以上	
				構成比		構成比		構成比
1980年（昭和55年）	22,483	6,339	4,253	18.9	14,229	63.3	4,001	17.8
1985年（昭和60年）	22,276	6,383	4,215	18.9	13,597	61.0	4,464	20.0
1990年（平成2年）	21,684	6,466	3,700	17.1	12,783	59.0	5,201	24.0
1995年（平成7年）	20,735	6,512	3,230	15.6	11,606	56.0	5,899	28.4
2000年（平成12年）	19,690	6,493	2,636	13.4	10,580	53.7	6,474	32.9
2005年（平成17年）	18,866	6,588	2,251	11.9	10,030	53.2	6,585	34.9
2010年（平成22年）	17,549	6,504	1,972	11.2	9,268	52.8	6,309	36.0
2015年（平成27年）	16,337	6,224	1,766	10.8	7,876	48.2	6,515	39.9

※平成27年：年齢不詳があったため、総人口と異なる。　　資料：国勢調査

出典：「統計データブック 2020 年 12 月」世羅町

図表 1-2　人口及び世帯数の推移



出典：「統計データブック 2020 年 12 月」世羅町

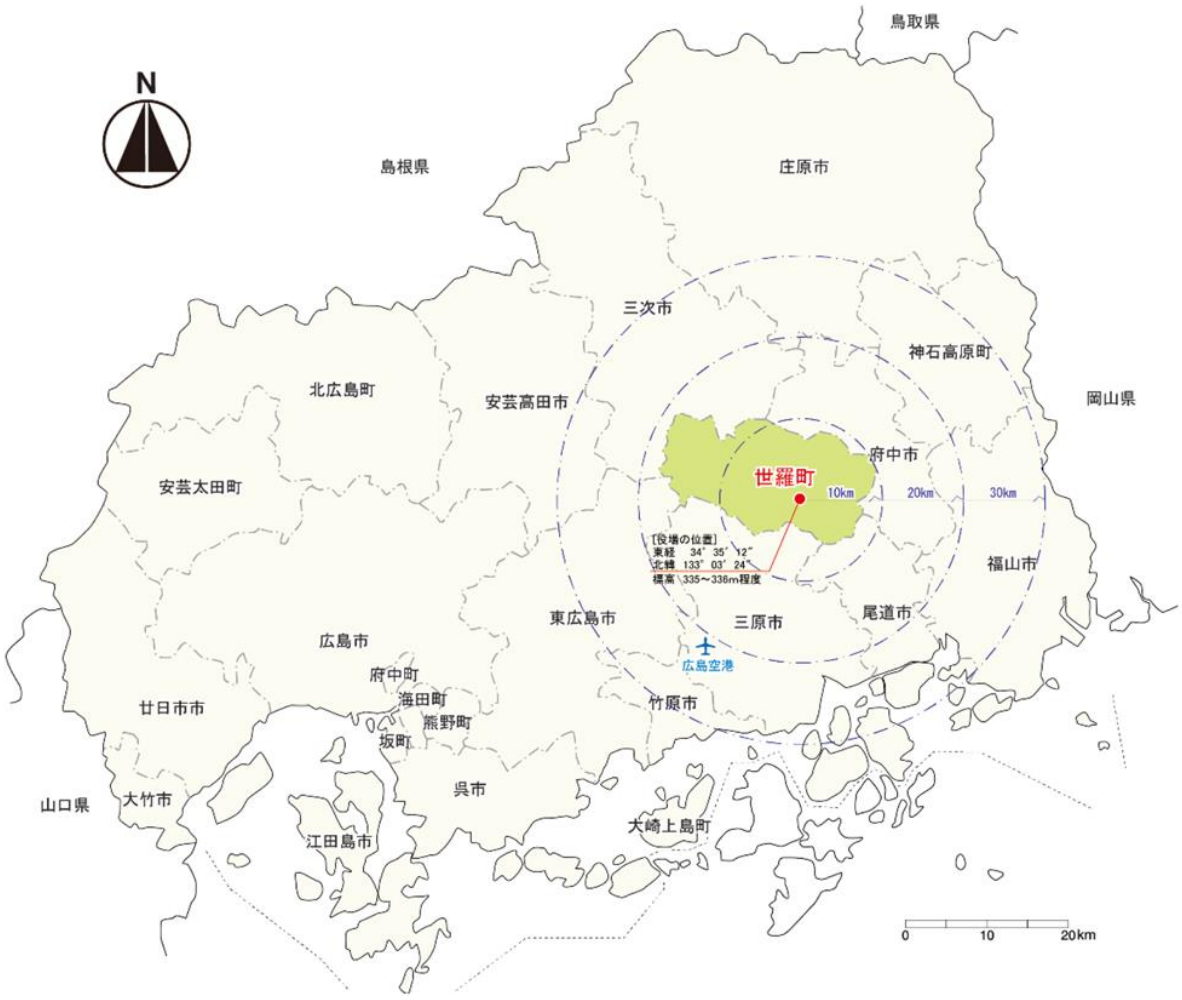
1.4 地理的特色

1.4.1 位置

本町は、広島県の中東部に位置し、東は府中市、西は東広島市、南は尾道市、三原市、北は三次市に接し、これら都市の 20～30 km 圏内にあり、広島空港にも約 36 km と近い位置にあります。

面積は 278.14 ㎢で、東西に約 26 km 、南北に約 14 km の広がりを有しています。

図表 1-3　本町の位置

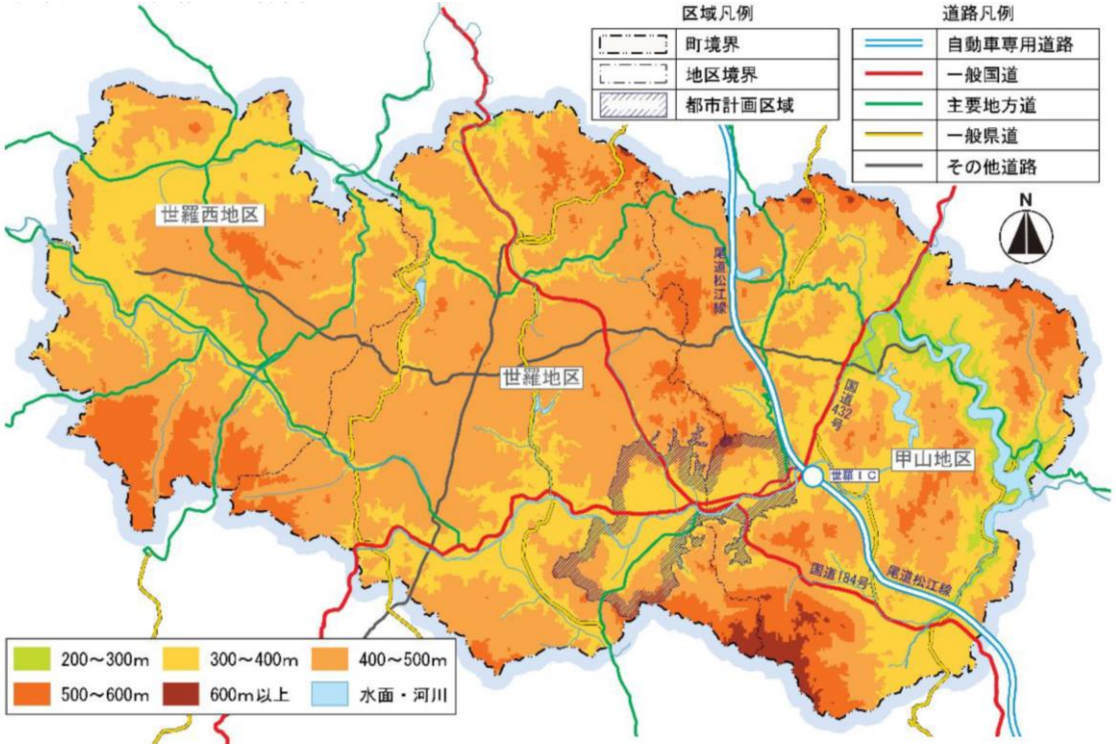


出典：世羅町都市計画マスタープラン

1.4.2 地勢・地形

この地域は標高 350m から 450m の台地を形成し、通称「世羅台地」と呼ばれています。また瀬戸内海に入る芦田川水系と、日本海に続く江の川水系の分水嶺を形成します。

図表 1-4　本町の地勢

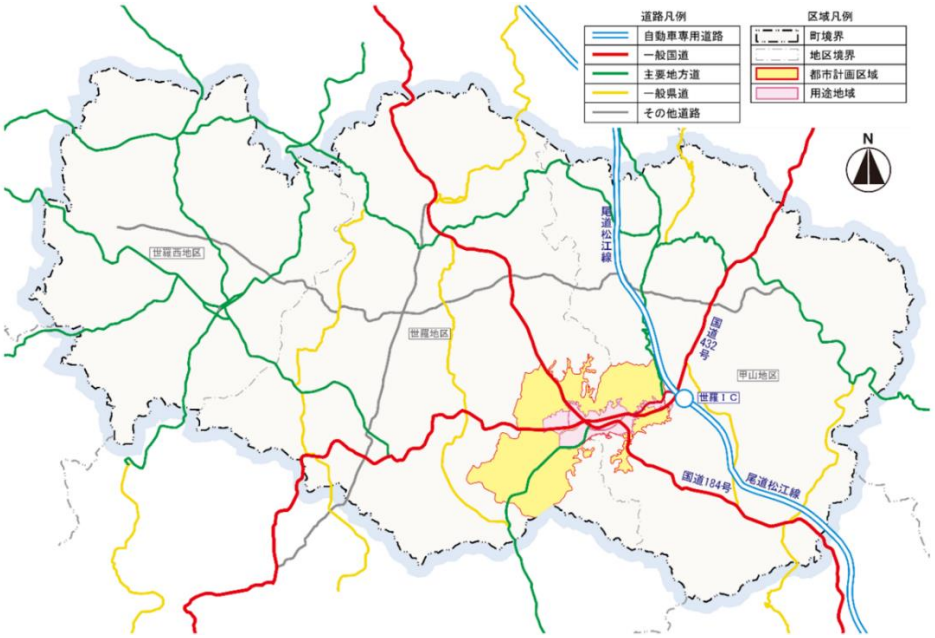


出典：世羅町都市計画マスタープラン

1.4.3 交通体系

道路網は、出雲市～尾道市間を連絡する国道 184 号が南北に、竹原市～松江市間を連絡する国道 432 号が東西に延びており、その他の主要地方道や一般県道等がこれら骨格道路に接続するかたちで町内道路網を形成しています。平成 27(2015)年 3 月には 中国横断自動車道尾道松江線が全線開通し、山陰、山陽、四国 方面をつなぐ広域ネットワーク が形成されています。都市計画道路は、自動車専用道路（17.37 ㎞)、幹線道路（3 路線、3.81 ㎞）が計画決定され、幹線道路の鎌倉流線（120 m）を除き、整備済みとなっています。

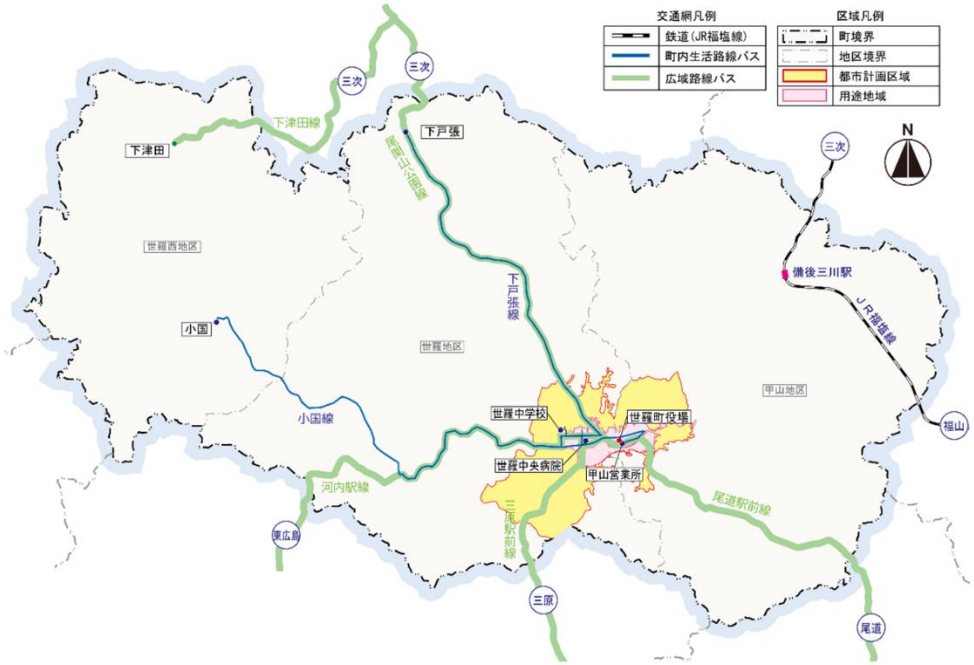
図表 1-5　主要な道路網



出典：世羅町都市計画マスタープラン

鉄道は、福山～塩町（三次市）間を運行するＪＲ福塩線の備後三川駅があり、1 日（6 時から 21 時）上り・下りでそれぞれ 6 便が運行しています。バス路線は、7 路線が運行し、町内の各地区や尾道市、三原市、三次市、東広島市 の隣接都市間を連絡しています。また、広島市と連絡する高速バス「ピースライナー（広島バスセンター～甲奴駅前）」 など が運行しています。平成 18(2006) 年 9 月からは電話予約によるデマンド交通システム である 「せらまちタクシー」の運行がスタートし、町民の身近な移動手段として利用されています。

図表 1-6　公共交通網

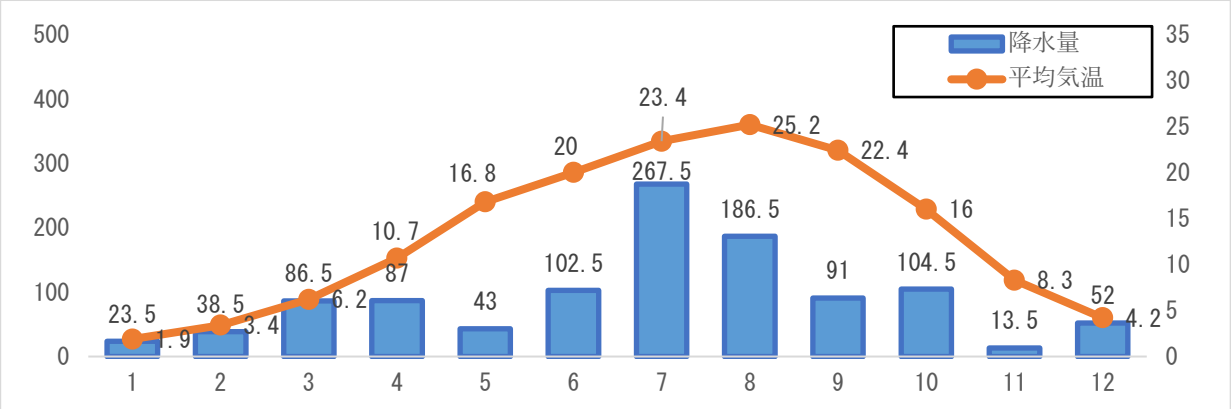


出典：世羅町都市計画マスタープラン

1.4.4 気候

気候は年間平均気温 13 度、年間降水量 1,300mm となり、広島市と比較すると平均温度で 3～4℃低く、年間降水量では約 200mm 少なくなっています。

図表 1-7　平均気温と月別降水量

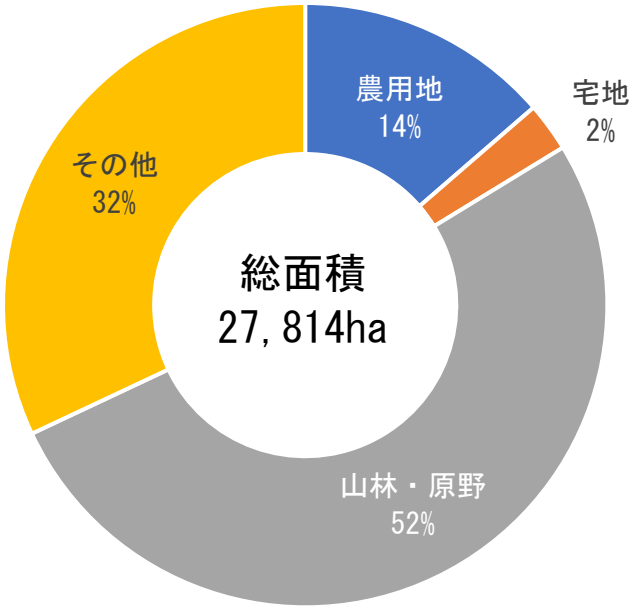


出典：「統計データブック 2020 年 12 月」世羅町

1.4.5 面積

本町の面積は、27,814ha で、広島県総面積の 3.3%を占めています。地目別の土地面積は、農用地が 14%（3,796ha）、宅地が 2%（728ha）、山林・原野が 52%（14,391ha）、その他が 32%（8,899ha）となっています。広島県内 23 市町あるなか、14 番目の大きさになります。

図表 1-8　地目別の土地面積



出典：「統計データブック 2020 年 12 月」世羅町

1.5 経済的特色

1.5.1 産業別人口

国勢調査によると、平成 27 年の本町の産業別就業人口は産業全体で 8,461 人となります。産業別内訳(比率)は第 1 次産業：2,117 人(25.0%)、第 2 次産業：1,807 人(21.4%)、第 3 次産業：4,537 人(53.6%)となっています。平成 2 年と比較すると、産業全体として 12,424 人から 8,461 人となり 31.9%減少となっています。第 3 次産業就業人口は 4,608 人から 4,537 人となり 1.5%減少で概ね横ばいですが、第 1 次産業就業人口は 3,448 人から 2,117 人となり 38.6%減少となっています。特に第 2 次産業就業人口は 4,368 人から 1,807 人となり 58.6%減少となり、全体と比較しても減少傾向が強くなっています。

図表 1-9　産業別集合人口構成

単位：人、%

産業／年度	合計		第 1 次産業		第 2 次産業		第 3 次産業	
		構成比		構成比		構成比		構成比
1990年（平成2年）	12,424	100.0	3,448	27.8	4,368	35.2	4,608	37.1
1995年（平成7年）	11,689	100.0	3,279	28.0	3,700	31.7	4,710	40.3
2000年（平成12年）	10,802	100.0	2,976	27.6	2,993	27.7	4,833	44.7
2005年（平成17年）	9,515	100.0	2,318	24.4	2,442	25.7	4,755	50.0
2010年（平成22年）	8,197	100.0	2,021	24.7	1,835	22.4	4,341	53.0
2015年（平成27年）	8,461	100.0	2,117	25.0	1,807	21.4	4,537	53.6

注)分類不能は除く

出典：「統計データブック 2020 年 12 月」世羅町

1.5.2 産業別事業所数

本町の産業別事業所数と産業別従業者数を図表 1-10 及び図表 1-11 に示します。平成 26 年の本町の事業所数は 958、従業者数は 7,392 人となっています。平成 13 年と比較すると、産業別事業所数は 1,202 から 958 となり 20.3%減少となっています。また産業別従業者数は、8,338 人から 7,392 人となり 11.4%減少となっています。このなか、農林水産業は増加傾向がみられ、事業所数は 43 から 80 となり 86.0%増加、従業者数は 795 人から 1,323 人となり 66.4%増加となっています。

図表 1-10　産業別事業所数

単位：事業所、%

年度	合計		農林水産業		鉱業・建設業		製造業		卸売・小売業・飲食店		サービス業		公務		その他	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
2001年（平成13年）	1,202	100	43	3.6	160	13.3	130	10.8	398	33.1	374	31.1	30	2.5	67	5.6
2006年（平成18年）	1,115	100	56	5.0	150	13.5	100	9.0	385	34.5	356	31.9	19	1.7	49	4.4
2009年（平成21年）	1,054	100	73	6.9	135	12.8	89	8.4	348	33.0	335	31.8	16	1.5	58	5.5
2014年（平成26年）	958	100	80	8.4	105	11.0	80	8.4	320	33.4	307	32.0	17	1.8	49	5.1

出典：「統計データブック 2020 年 12 月」世羅町

図表 1-11　産業別従業員数

単位：人、%

年度	合計		農林水産業		鉱業・建設業		製造業		卸売・小売業・飲食店		サービス業		公務		その他	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
2001年（平成13年）	8,338	100	795	9.5	924	11.1	1,363	16.3	2,087	25.0	2,298	27.6	345	4.1	526	6.3
2006年（平成18年）	8,219	100	1,342	16.3	839	10.2	1,135	13.8	2,132	25.9	2,138	26.0	279	3.4	354	4.3
2009年（平成21年）	7,702	100	1,444	18.7	671	8.7	885	11.5	1,958	25.4	2,079	27.0	234	3.0	431	5.6
2014年（平成26年）	7,392	100	1,323	17.9	492	6.7	902	12.2	1,903	25.7	2,063	27.9	289	3.9	420	5.7

出典：「統計データブック 2020 年 12 月」世羅町

1.5.3 農業

本町の総農家戸数は、図表 1-12 で示す通り、平成 17 年の 2,831 戸から平成 27 年の 2,088 戸となり約 26%減少しています。また、販売農家戸数は 2,280 戸から 1,476 戸となり約 35%減少しています。特に兼業農家戸数は 1,762 戸から 1,018 戸となり、約 42.2%減少と総農家戸数と比較しても減少傾向がみられます。